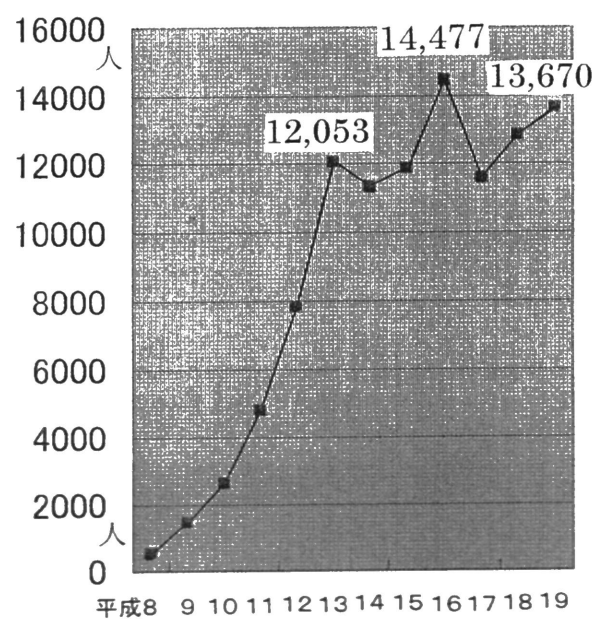


新しい夢を 次の世代に託して

町並み案内

十二年



町並み観光案内者数
過去十二年間の推移

総案内人数 105,069人



第42号

平成20年8月

発行 NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会
佐原町並み保存会
お問い合わせ 佐原町並み交流館
☎ 0478(52)1000

第四回総会

一年の着実な成果をわかりやすく

理事長が写真でたどる



高橋賢一理事長

NPO「小野川と佐原の町並みを考える会」の第四回定期総会が平成二十年五月十三日(火)午後五時より、佐原町並み交流館内二階「多目的室」で開催されました。

吉田昌司副理事長の開会宣言に続き、高橋賢一理事長が挨拶に立ち、この一年をアルバムにしてわかりやすく、「文化の日表彰」「ボンネットバスの運行」「骨董市」「建物公開事業」「バーチャル・リアリティの設置」「研修旅行」等の成果を讃えました。

事業報告は、まちづくり班長林正裕氏が六ページに及ぶ年間の活動を説明しました。この報告も重要と思われることとに限定しなければならぬほど膨大なものでした。例年のNPO活動に加えて、他団体・機関との交流は連日に及ぶ

ほどで、役員の皆さまには本当に忙しい一年でした。来年は「全国町並みゼミ」が佐原で開催されます。成田市と連携をとりながら着々と準備が進行中で、さらに多忙になることが予想されます。

決算報告は、佐藤健太良事務局長が、佐原町並み交流館の各種事業については、小林和男館長が報告。事業計画・予算は、庶務・会計班長坂本博一氏が報告した後、すべての案件が満場一致で承認され、総会は無事終了しました。

第三二回(二〇〇九年) 全国町並みゼミ

佐原・成田大会

佐原三菱館で観光客とふれあってみませんか?

館内案内募集中!

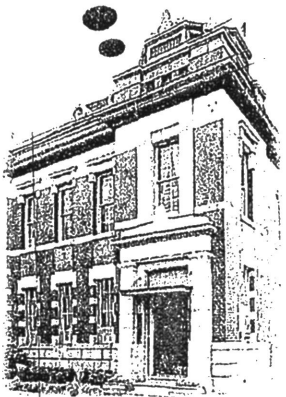
佐原の町並みが常時映像で紹介されている館内で、観光客に建物のある場所を教えるボランティアを募集中です

問い合わせは

受付: 毎週木曜・土曜 三菱館にて

☎ 0478(54)7766

NPO町並み案内ボランティア



佐原の食めぐり

8月9日(土)~17日(日)

千産千消を
「江戸優り、佐原の食めぐり」が四月、五月に続き、おかみさん会の夕涼みに協賛して展開されます。閉店時間も夕涼みにあわせて延長されます。

前回四、五月の「食めぐり」は、利用者のアンケートでも大好評ということでした。

「北総ボーク」もどうぞ味わってみてください。

(のれん班・田中良一班长)

さわら・町並み・夕涼み

8月13日(水)~16日(土)

16日(土)は小野川沿いで多彩なイベント



全町内の扇子がそろう

○ 我孫子市立高野山小学校四年生「校外学習新聞」展

○ 「川柳」展

○ 写真で見る佐原の町並み保存十年の歩み

○ 野口正博切り絵体験教室

○ 藤ヶ崎たつ子蔓工芸体験教室

○ 橋本健司・山車水彩画展

○ 原田糸子作陶展

○ 篋工房・篋谷一雄作陶展

○ 樽澤猛彫刻展

○ バーチャル・リアリティ・キヤド設置

○ 打ち掛け・岩槻人形展示

佐原町並み交流館を飾る

ふるさと佐原の魅力で一杯です!

NPO「小野川と佐原の町並みを考える会」は町おこし事業に加えて、佐原町並み交流館ホール及び三菱館内の展示は年間中断がありません。

佐原の魅力を伝える良い機会です。皆様のご来館をお待ちしています。

事業報告の一部を紹介します。

○ 交流館ホール

○ 県指定伝統的工芸品香取展

○ 天真正伝香取神道流展

○ 佐原の大祭・町内扇子展

○ 佐原五月人形めぐり展

○ フォトサークル四季彩・佐原の光景写真展

○ さつき盆栽展

○ 松戸洋画木曜会・さわらスケッチ展

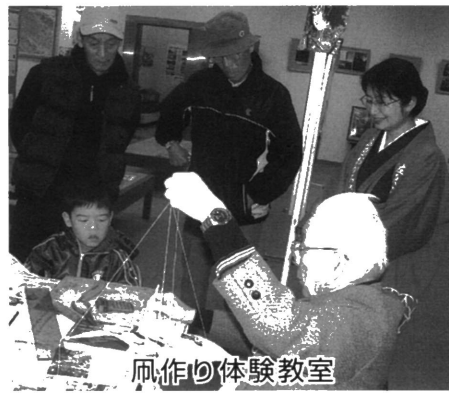
○ ドールハウスの世界

○ 手づくり佐原山車展

○ 佐原幼稚園児灯籠絵作品展

○ デジタル写真小江戸佐原展

○ 松戸市立第四中学校一年生「川柳」展



風作り体験教室

町並みを歩いて

重伝建地区の隠れた魅力を発掘

重伝建地区を歩いていると、道路に面した所だけではなく、目立たない所でも町並みの景観に合わせた改築・修復が行なわれています。

そんな町並みを佐原の基点から辿ってみましょう。

佐原町の基点から

おせんべい屋の八木清さんと金物屋の井坂屋さんの前の丁字路の中央にマンホールの蓋があり、その地下には結構大きな井戸があつて、その陥没を防ぐための工事がされてあるそうです。

自動車のない時代、小野川の「だし」から下ろされた荷を運ぶ牛馬のための水飲み場があつたからです。

また、井坂屋さんの前には「佐原道路町標識元標」の御影石が電柱の下に立っていますから、ここが佐原の町の基点だつたことがわかります。

お茶をぐちそうに

去る六月十六日に家内と佐原をお訪ねした折に「休んでいきなさい」とのお言葉を受け、由緒ある会館でお茶を戴き、色々佐原のことをうかがいました。皆様の心暖まるご親切な対応にとほつとしたものです。ありがとうございました。

(牧野さま)

私達もボランティア

過日の真壁町並み案内ボランティアの研修の際には、ご多忙中にもかかわらず、格別のご配慮をいただき厚くお礼申し上げます。

小野川沿いの町並みに柳の葉が風にゆれ、なぜか遠い江戸時代にタイムスリップしたようなほつとする心とむひとときを感じることが出来ました。七月と十月の祭りにはぜひ佐

(その一)

清宮利右衛門家

馬場酒造の信号を左折し、下新町の通りに入つてすぐの黒い板塀の屋敷が「清宮利右衛門家」です。門前に石碑があります。

地占八洲東海東利根曲折貫其中平原何恨雲煙乏澤国堪誇蝦菜豊

これは九代目秀堅の著わした「北総詩誌」の巻頭詩です。

(佐原の地は関八州日本の東端にあり、その中を利根川が曲がりくねって流れている。四方が見渡せる平野にありとりたてて景色に目立つ所はないが、湖沼が多く水に恵まれていて川えびや野菜が豊富にとれる)

昭和六十三年に佐原ロータリークラブの寄付によって建てられた碑のうちの一つです。屋敷は江戸時代後期の名主宅で、木造平屋寄せ棟、土蔵造り。



清宮利右衛門家正面

学者として「下総国旧事考」「成田山参拝記」「北総詩誌」の諸著作があります。

植田屋荒物店

忠敬橋の際にある荒物屋さんで、創業は宝暦九年(一七五九)母屋は明治二六年、土蔵は明治元年の建物です。

店奥の土蔵二階には「大分県産地直輸入畳表」の看板が残されています。土蔵の棟木は六間の長尺で、一階の入り口右側には子息の使用した補習用のテキスト等が展示されています。

大分臼杵市在住の伝統工芸家毛利健氏による竹工芸品とともに、別府から送られてくる竹製品がそろっています。

加納屋薬局・みごとに往時の姿がよみがえる

「三菱館」の斜め前に見える黒い土蔵の店構えの薬局です。始祖は澤田嘉兵衛、安永五年(一七七六)下総国飯岡(いのおか)村(現成田市)に生まれ、江戸などで修行をした後、文化元年(一八〇四)佐原で薬種店を開きました。



復元なった土蔵倉店舗

パペット式看板を取り除き、平成十九年二月に復元された土蔵は弘化二年(一八四五)に土蔵倉を改造したもので、約百五十年前の建物が再現されました。

嘉兵衛は隠居後、済斎と称し狂歌師として幾冊かの著作を残しています。文久二年(一八六二)年天狗党騒擾事件の最中、八七才で没しました。



植田屋荒物店店先

店左奥の階段を昇った所には自由に開け閉めできる暖房、防犯を兼ねたスライド板があり、幕末の天狗党の強請の際には、このスライドの戸が有効だったでしょう。

町並み案内

観光ボランティア・ガイドを

生きがいに

その三・宇野順子さんに聞く

を読んでいます。

佐原小学校に勤務している頃、小島一仁先生が顧問であった「佐原の伝統文化を大切にする会」に参加しました。主に、伊能忠敬のフィールドワークが中心で、九十九里の生誕地訪問や観福寺の墓地の研究をしていました。それ以前は忠敬の墓石がどれであるか不明で、この研究会が正しい墓石をつきとめました。

ジャージの橋の復元もこの会の活動の結果できたものです。教職を退職後、吉田昌司さんの呼びかけで、町並み案内の講習会に参加し、半年ほどの研修をへて、夏の祭礼にはすでに間に合うというスピードぶり。平成八年の「重伝建」指定に間に合つてよかったと胸をなでおろしたそうです。



明解な説明が評判の宇野さん

宇野さんは、もともと佐原の歴史に興味があり、市の図書館に通つて「佐原市史」等の資料

町の人たちとも顔なじみになれ、話しかけてくれる人が増えたのがうれしいとのこと。町並案内班の「募集キャンペーン」が成功し、佐原で育った方々が沢山応募してくれるのを期待しています。

観光案内に感謝の礼状

(その3)

次は私がガイドに

テーマのもと木更津から出かけた子どもたちは、おかげさまで充実の二時間を過ごすことができました。佐原の町を見学し取材する中で、子どもたちなりの課題解決ができたようです。

また、ご当地のみなさまの温かいお気持ちにふれ、大変感激して帰ってまいりました。一つ一つの質問にいてねに

留学生も感激

わずかな時間でしたが見事な出車会館などをご案内くださり、留学生にとりまして今回が初めての国内見学でしたので、とても印象深かったようです。(三鷹市、田中さま)

平成19年度 佐原町並み交流館

入館数	
17年度	69,046
18年度	86,084

10万人を突破

19年度	101,414
(うち外国人数 686)	

施設利用状況

(二階研修室利用)

一般利用者数	10,086
減免利用者数	2,170
総計	12,256

実験店舗

- 多摩美術大学
- 「小江戸・おにぎりや」
- 週末開店・油茂前(香取街道)
- 工学院・東京大学チーム
- 「ぐるぎ十(ぶらす)」古着販売
- 八月八日(金) オープン
- 井上屋材木店